

97 冷戦とサンフランシスコ平和条約



第二次世界大戦後の国際情勢はどうなったのですか？

簡単に言えば、アメリカとソ連の対立から、冷戦が深刻化し、核開発が進みます。



第二次世界大戦後、国際連盟^{こくさいれんめい}→p.196にかわって国際連合^{こくさいれんごう}が発足します。しかし、大戦末期から始まっていたアメリカとソ連の対立が激しくなります。アメリカ中心の資本主義体制の自由主義陣営^{じゆうしゆぎじんえい}（西側）と、ソ連がトップの計画経済中心の社会主義陣営^{しゃかいしゆぎじんえい}（東側）の対立です（冷戦）。

ドイツの東西分割などの冷戦が進む中、中国では中国共産党と国民党の内戦が進行します。そして毛沢東^{もうたくとうひき}率いる中国共産党が勝利し、1949（昭和24）年10月、中華人民共和国^{ちゅうかじんみんきわくこく}が成立します*1。

朝鮮半島では、冷戦の影響を受け、2つの国が生まれます。南にはアメリカ側の大韓民国^{たいかんみんこく}が、北にはソ連側の朝鮮民主主義人民共和国^{ちようせんみんしゆしゆぎじんみんきわくこく}（北朝鮮）が成立します。この2国は、1950年6月、北朝鮮の南への侵攻で戦争になります（朝鮮戦争^{ちようせんせんそう}*2）。

冷戦の激化とアジアでの戦争を背景に、アメリカは再軍備を日本政府に要求し、1950年8月に警察予備隊^{けいさつよびたい}が発足します。公職追放^{こうしやくついほう}→p.226は解除され、戦前の有力者が復帰します。一方で日本共産党員は排除されます（レッド=パージ）。

さらに、日本の占領を早期に切り上げるため、アメリカは1951年、サンフランシスコ講和会議^{さんぷらんしんしよこうわかいぎ}を主催し、日本の独立を促します*3。日本はこの会議で講和条約であるサンフランシスコ平和条約^{さんぷらんしんしよへいしやうやく}を結び*4、独立を達成します。

講和条約締結の当日、続いて日米安全保障条約^{にちべいあんぜんほしやうしやうやく}が結ばれ、日本側は米軍に基地を提供することになりました。翌1952年には具体的な基地の提供の条件などについて、日米行政協定^{にちべいぎょうせいぎょうてい}が結ばれます。

* 1 中国革命の中心であった国民党は、蔣介石とともに台湾に移り国民政府を存続させます。この2つの中国の対立は、現在も続いているわけです。
* 2 1953年7月、朝鮮休戦協定が結ばれ、北緯38度線を境に南北の朝鮮が分裂状態で対立することになりました。この状態も現在に至るまで続いています。



どうして冷戦と呼ばれたんですか？

米ソは、直接戦火を交わすような熱い戦いは行わなかったので、「冷たい戦争」という状況だったという意味です。



戦後の国際政治

1945	第二次世界大戦終結 国際連合成立
1947	マーシャル=プラン
1948	韓国・北朝鮮成立
1949	北大西洋条約機構(NATO)結成 中華人民共和国成立
1950	朝鮮戦争 →日本、警察予備隊設置 特需→p.242
1951	サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約
1955	ワルシャワ条約機構結成

ヨーロッパの戦後復興について、アメリカはマーシャル=プランで、自由主義経済を維持する西欧諸国を援助します。そして、アメリカと西欧の自由主義陣営諸国は、北大西洋条約機構（NATO）を結成します。ソ連も、東欧の社会主義諸国などとの間で1955年、ワルシャワ条約機構を結成して対抗します。

平和条約における日本の領土



GHQによる占領は解かれましたが、占領行政の範囲から外れていた沖縄・奄美諸島・小笠原諸島などは独立とは直接関係せず、米軍の施政権下に置かれます。

* 3 このころ、日本の民主化より経済の再建を優先したのも、日本を資本主義陣営の強国として育成する必要があったからです。
* 4 講和条約締結にあたり、全ての交戦国と条約を結ばないと意味がないという主張（全席講和論）と、冷戦の現状ではそれは無理だから、アメリカなどとの講和条約だけで事実上、独立を達成できるという主張（単独講和論）が対立します。時の内閣、吉田茂→p.230は自らサンフランシスコに赴き、単独講和で48カ国と条約を結びました。ソ連、ポーランド、チェコスロバキアは、参加したが調印せず、中国は中華人民共和国と台湾の中華民国の両者ともに招かれませんでした。